

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2023年4月25日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第16作成期)

第89期(2020年2月25日) 第92期(2020年5月25日)
第90期(2020年3月25日) 第93期(2020年6月25日)
第91期(2020年4月27日) 第94期(2020年7月27日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2020年7月27日に第94期決算を行いましたので、第89期から第94期の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率					
第12 作成 期	65期 (2018年2月26日)	円 3,249	円 70	% △ 4.7	% —	% —	% 98.9	百万円 9,892
	66期 (2018年3月26日)	3,089	70	△ 2.8	—	—	99.0	9,338
	67期 (2018年4月25日)	3,041	70	0.7	—	—	99.7	9,031
	68期 (2018年5月25日)	2,967	70	△ 0.1	—	—	99.0	8,731
	69期 (2018年6月25日)	2,876	70	△ 0.7	—	—	99.4	8,334
	70期 (2018年7月25日)	2,843	70	1.3	—	—	99.1	8,146
第13 作成 期	71期 (2018年8月27日)	2,805	70	1.1	—	—	99.2	7,977
	72期 (2018年9月25日)	2,676	70	△ 2.1	—	—	99.0	7,631
	73期 (2018年10月25日)	2,528	50	△ 3.7	—	—	99.0	7,215
	74期 (2018年11月26日)	2,465	50	△ 0.5	—	—	99.4	6,875
	75期 (2018年12月25日)	2,249	50	△ 6.7	—	—	99.1	6,059
	76期 (2019年1月25日)	2,326	50	5.6	—	—	98.8	6,228
第14 作成 期	77期 (2019年2月25日)	2,337	50	2.6	—	—	99.0	6,346
	78期 (2019年3月25日)	2,276	50	△ 0.5	—	—	98.9	6,187
	79期 (2019年4月25日)	2,300	50	3.3	—	—	97.8	6,150
	80期 (2019年5月27日)	2,231	50	△ 0.8	—	—	99.0	6,020
	81期 (2019年6月25日)	2,190	50	0.4	—	—	98.8	5,804
	82期 (2019年7月25日)	2,195	50	2.5	—	—	99.0	5,764
第15 作成 期	83期 (2019年8月26日)	2,038	50	△ 4.9	—	—	99.1	5,324
	84期 (2019年9月25日)	2,091	35	4.3	—	—	99.0	5,439
	85期 (2019年10月25日)	2,077	35	1.0	—	—	99.3	5,269
	86期 (2019年11月25日)	2,020	35	△ 1.1	—	—	99.1	5,022
	87期 (2019年12月25日)	2,033	35	2.4	—	—	99.4	4,920
	88期 (2020年1月27日)	2,009	35	0.5	—	—	99.3	4,808
第16 作成 期	89期 (2020年2月25日)	1,973	35	△ 0.0	—	—	99.2	4,708
	90期 (2020年3月25日)	1,131	35	△40.9	—	—	98.7	2,637
	91期 (2020年4月27日)	1,275	35	15.8	—	—	99.0	2,972
	92期 (2020年5月25日)	1,326	35	6.7	—	—	99.0	3,098
	93期 (2020年6月25日)	1,324	35	2.5	—	—	98.9	3,211
	94期 (2020年7月27日)	1,320	35	2.3	—	—	98.9	3,228

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II- 豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第89期	期 首 (前期末) 2020年 1 月 27 日	2,009	—	—	—	99.3
	1 月 末	1,965	△ 2.2	—	—	98.9
	期 末 2020年 2 月 25 日	2,008	△ 0.0	—	—	99.2
第90期	期 首 (前期末) 2020年 2 月 25 日	1,973	—	—	—	99.2
	2 月 末	1,847	△ 6.4	—	—	99.3
	期 末 2020年 3 月 25 日	1,166	△40.9	—	—	98.7
第91期	期 首 (前期末) 2020年 3 月 25 日	1,131	—	—	—	98.7
	3 月 末	1,245	10.1	—	—	98.8
	期 末 2020年 4 月 27 日	1,310	15.8	—	—	99.0
第92期	期 首 (前期末) 2020年 4 月 27 日	1,275	—	—	—	99.0
	4 月 末	1,300	2.0	—	—	98.9
	期 末 2020年 5 月 25 日	1,361	6.7	—	—	99.0
第93期	期 首 (前期末) 2020年 5 月 25 日	1,326	—	—	—	99.0
	5 月 末	1,400	5.6	—	—	98.7
	期 末 2020年 6 月 25 日	1,359	2.5	—	—	98.9
第94期	期 首 (前期末) 2020年 6 月 25 日	1,324	—	—	—	98.9
	6 月 末	1,293	△ 2.3	—	—	99.0
	期 末 2020年 7 月 27 日	1,355	2.3	—	—	98.9

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

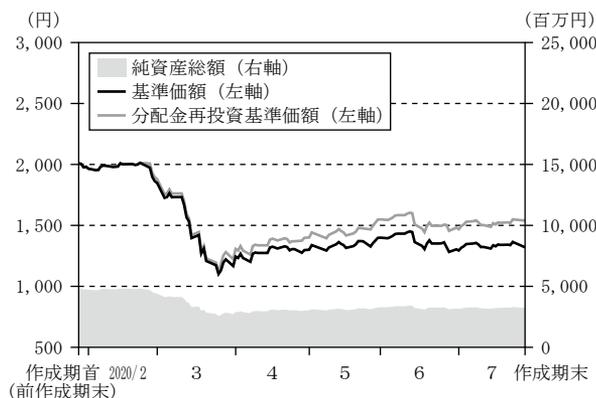
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第89期首：2,009円
 第94期末：1,320円（既払分配金210円）
 騰落率：△23.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年1月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、保有しているオーストラリア高配当株式の価格下落などがマイナス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド	△23.6%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に歯止めがかからず、経済活動の停滞が長期化する可能性が意識されたことなどから、2020年2月下旬から3月中旬にかけて株価は大幅に下落しました。3月下旬には、オーストラリア政府の財政支援策や、主要国の協調的な金融・財政政策の発表などを受けて、過度のリスク回避姿勢が和らいだことなどから株価は上昇に転じました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済低迷長期化への懸念や、新型コロナウイルスの感染源を巡る米中関係の悪化が警戒されたことなどが投資家心理を悪化させ、オーストラリア株式の下落要因となった一方、オーストラリアをはじめ一部の国において新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られるなか、経済活動の回復期待が高まったことや、米国をはじめ海外株式市場が底堅い展開となったことなどが好材料となって、オーストラリア株式市場は緩やかながらも上昇基調で推移し、作成期中の下落幅を縮小させる展開となりました。

【為替市況】

豪ドルは対円で上昇しました。中国発の新型コロナウイルスの感染が日本や欧州、米国にも拡大したことで、グローバル経済に及ぼす影響が想定より大きくなるとの警戒感が強まり、また、観光業への依存度が高いオーストラリア経済への影響が懸念されたことなどから、2020年2月下旬から3月中旬にかけて豪ドルは円に対し大幅下落する展開となりました。3月下旬には、新型コロナウ

イルス感染拡大による経済への悪影響に対処するため、各国で緊急利下げや量的緩和策、景気刺激策が打ち出されたことを受けて、投資家の過度なリスク回避姿勢が和らぐなか豪ドルは円に対して上昇しました。その後も、新型コロナウイルスの感染拡大の最悪期は過ぎたとの見方が広がるなか、世界的に経済活動再開の動きがみられたことや、感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）を受けた日用品や食品等の消費の拡大を反映して豪小売売上高が過去最高の伸びを示したことなどが好材料となって、豪ドルは円に対し上昇基調で推移しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.12\%$ から作成期末は $\Delta 0.09\%$ となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

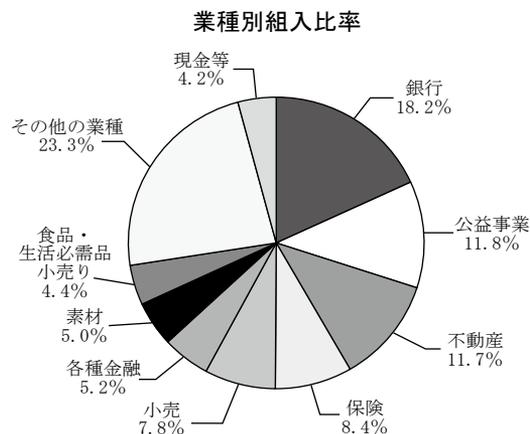
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプション α 戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプション α 戦略」を組み合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンドの組入状況＞
2020年6月30日現在（現地基準）



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	5.0%
2	AGL ENERGY LTD	公益事業	4.9
3	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	4.8
4	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.3
5	BHP GROUP LTD	素材	4.3
6	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	銀行	4.3
7	STOCKLAND	不動産	4.0
8	WESTPAC BANKING CORP	銀行	3.2
9	JB HI-FI LTD	小売	3.1
10	APA GROUP	公益事業	3.1

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第89期から第94期まで各35円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T & Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2020年 1 月 28日から2020年 7 月 27日まで)

費用の明細

項目	第89期～第94期		項目の概要
	2020/1/28～2020/7/27		
	金額	比率	
平均基準価額	1,508円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	11円 (4) (7) (0)	0.727% (0.274) (0.438) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.010 (0.010)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	11	0.744	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

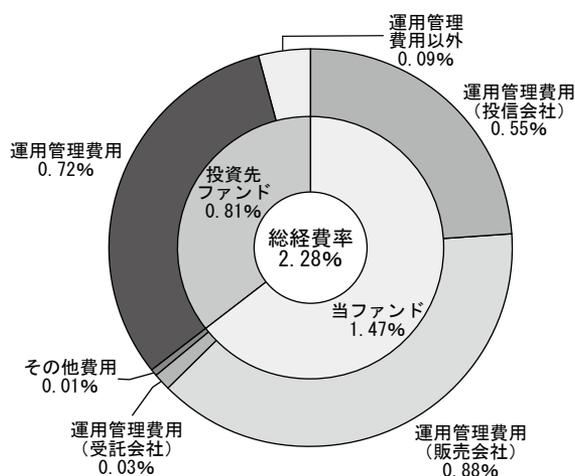
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.28%です。



総経費率 (①+②+③)	2.28%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年1月28日から2020年7月27日まで)

(1) 投資信託証券

		第 89 期 ~ 第 94 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 118,193	千円 152,000	口 86,126	千円 115,651

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 89 期 ~ 第 94 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 11,224	千円 11,400	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2020年1月28日から2020年7月27日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年7月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第88期末)	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	口 2,458,858	口 2,490,925	千円 3,193,640	% 98.9

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第88期末)	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 24,294	千口 13,070	千円 13,270

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は555,059千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年7月27日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 94 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	千円 3,193,640	% 95.3
T & D マネープールマザーファンド	13,270	0.4
コール・ローン等、その他	143,153	4.3
投資信託財産総額	3,350,063	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月25日現在 2020年3月25日現在 2020年4月27日現在 2020年5月25日現在 2020年6月25日現在 2020年7月27日現在

項目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
(A) 資産	4,827,621,396円	2,757,209,679円	3,061,210,559円	3,186,749,625円	3,323,161,523円	3,350,063,685円
コール・ローン等	132,703,351	139,646,642	104,532,119	105,915,636	134,406,051	143,153,462
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	4,670,244,096	2,604,289,090	2,943,399,800	3,067,561,349	3,175,484,139	3,193,640,197
T&Dマネーブルーマザーファンド(評価額)	24,673,949	13,273,947	13,272,640	13,272,640	13,271,333	13,270,026
(B) 負債	119,093,030	119,873,490	89,044,000	87,787,322	111,920,743	121,928,489
未払金	-	-	-	-	19,000,000	27,000,000
未払収益分配金	83,523,573	81,603,863	81,609,285	81,788,499	84,871,104	85,610,435
未払解約金	29,973,558	33,937,139	3,494,272	2,473,505	3,938,867	5,137,788
未払信託報酬	5,537,355	4,287,104	3,899,212	3,488,395	4,067,726	4,136,478
未払利息	266	269	200	211	239	256
その他未払費用	58,278	45,115	41,031	36,712	42,807	43,532
(C) 純資産総額(A-B)	4,708,528,366	2,637,336,189	2,972,166,559	3,098,962,303	3,211,240,780	3,228,135,196
元本	23,863,878,264	23,315,389,429	23,316,938,691	23,368,142,821	24,248,886,934	24,460,124,379
次期繰越損益金	△19,155,349,898	△20,678,053,240	△20,344,772,132	△20,269,180,518	△21,037,646,154	△21,231,989,183
(D) 受益権総口数	23,863,878,264口	23,315,389,429口	23,316,938,691口	23,368,142,821口	24,248,886,934口	24,460,124,379口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,973円	1,131円	1,275円	1,326円	1,324円	1,320円

(注) 当ファンドの第89期首元本額は23,932,778,706円、第89～94期中追加設定元本額は2,869,196,391円、第89～94期中一部解約元本額は2,341,850,718円です。

(注) 元本の欠損

第94期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は21,231,989,183円です。

(注) 第94期末の1口当たり純資産額は0.1320円です。

損益の状況

自2020年1月28日 自2020年2月26日 自2020年3月26日 自2020年4月28日 自2020年5月26日 自2020年6月26日
至2020年2月25日 至2020年3月25日 至2020年4月27日 至2020年5月25日 至2020年6月25日 至2020年7月27日

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
(A) 配当等収益	82,948,571円	81,488,668円	80,871,709円	80,660,728円	81,399,236円	83,833,562円
受取配当金	82,951,915	81,491,572	80,874,038	80,663,217	81,402,905	83,836,704
支払利息	△ 3,344	△ 2,904	△ 2,329	△ 2,489	△ 3,669	△ 3,142
(B) 有価証券売買損益	△ 79,575,141	△ 1,950,522,963	335,892,312	123,545,979	△ 2,457,084	△ 6,347,809
売買利益	1,297,397	40,203,016	339,079,497	124,126,852	59,243	450,137
売買損	△ 80,872,538	△ 1,990,725,979	△ 3,187,185	△ 580,873	△ 2,516,327	△ 6,797,946
(C) 信託報酬等	△ 5,595,633	△ 4,332,219	△ 3,940,296	△ 3,525,107	△ 4,110,533	△ 4,180,010
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,222,203	△ 1,873,366,514	412,823,725	200,681,600	74,831,619	73,305,743
(E) 前期繰越損益金	△ 8,949,283,772	△ 8,719,239,815	△ 10,533,500,687	△ 10,109,327,102	△ 9,879,954,453	△ 9,725,071,664
(F) 追加信託差損益金	△ 10,120,320,350	△ 10,003,843,048	△ 10,142,485,885	△ 10,278,746,517	△ 11,147,652,216	△ 11,494,612,827
(配当等相当額)	(2,766,067,603)	(2,696,689,242)	(2,692,927,020)	(2,697,856,908)	(2,799,328,169)	(2,817,466,394)
(売買損益相当額)	(△12,886,387,953)	(△12,700,532,290)	(△12,835,412,905)	(△12,976,603,425)	(△13,946,980,385)	(△14,312,079,221)
(G) 合計(D+E+F)	△ 19,071,826,325	△ 20,596,449,377	△ 20,263,162,847	△ 20,187,392,019	△ 20,952,775,050	△ 21,146,378,748
(H) 収益分配金	△ 83,523,573	△ 81,603,863	△ 81,609,285	△ 81,788,499	△ 84,871,104	△ 85,610,435
次期繰越損益金(G+H)	△ 19,155,349,898	△ 20,678,053,240	△ 20,344,772,132	△ 20,269,180,518	△ 21,037,646,154	△ 21,231,989,183
追加信託差損益金	△ 10,126,490,985	△ 10,008,290,462	△ 10,143,987,878	△ 10,281,266,705	△ 11,156,234,617	△ 11,500,569,710
(配当等相当額)	(2,759,896,968)	(2,692,241,828)	(2,691,425,027)	(2,695,336,720)	(2,791,745,768)	(2,811,509,511)
(売買損益相当額)	(△12,886,387,953)	(△12,700,532,290)	(△12,835,412,905)	(△12,976,603,425)	(△13,946,980,385)	(△14,312,079,221)
繰越損益金	△ 9,028,858,913	△ 10,669,762,778	△ 10,200,784,254	△ 9,987,913,813	△ 9,882,411,537	△ 9,731,419,473

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

〔第89期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（77,352,938円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,766,067,603円）より、分配対象収益は2,843,420,541円（1万口当たり1,191円）であり、うち83,523,573円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

〔第90期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（77,156,449円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,696,689,242円）より、分配対象収益は2,773,845,691円（1万口当たり1,189円）であり、うち81,603,863円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

〔第91期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（80,107,292円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,692,927,020円）より、分配対象収益は2,773,034,312円（1万口当たり1,189円）であり、うち81,609,285円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

〔第92期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（79,268,311円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,697,856,908円）より、分配対象収益は2,777,125,219円（1万口当たり1,188円）であり、うち81,788,499円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

〔第93期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（77,288,703円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,799,328,169円）より、分配対象収益は2,876,616,872円（1万口当たり1,186円）であり、うち84,871,104円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

〔第94期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（79,653,552円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,817,466,394円）より、分配対象収益は2,897,119,946円（1万口当たり1,184円）であり、うち85,610,435円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2020年1月28日 ～2020年2月25日	2020年2月26日 ～2020年3月25日	2020年3月26日 ～2020年4月27日	2020年4月28日 ～2020年5月25日	2020年5月26日 ～2020年6月25日	2020年6月26日 ～2020年7月27日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
（対基準価額比率）	1.743	3.002	2.672	2.572	2.575	2.583
当期の収益	32	33	34	33	31	32
当期の収益以外	2	1	0	1	3	2
翌期繰越分配対象額	1,156	1,154	1,154	1,153	1,151	1,149

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p>[高配当株投資]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 <p>[株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略]</p> <ul style="list-style-type: none"> スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド**（豪州高配当株の運用）</p> <p>※レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨーククモロン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2019年2月1日～2020年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	282,009,837
スワップ取引に係る収益・費用	(29,092,276)
投資に係る純損益	267,395,188
投資純損益	520,312,749
その他収益	1,907,633
外国為替取引に係る純損益	(16,116,803)
収益合計	506,103,579

費用

投資顧問料	27,739,055
その他費用	4,893,738
取引手数料	1,907,633
管理・保管費用	11,038,827
事務代行手数料	1,395,754
運用報酬	540,481
運用費用合計	47,515,488
税引前損益	458,588,091
源泉徴収税	(9,460,109)
期中の純資産変動	449,127,982

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2020年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
AUST AND NZ BANKING GROUP	131,899		246,437,328	銀行
WESTPAC BANKING CORP	93,043		169,586,429	銀行
TELSTRA CORP LTD	757,846		211,154,306	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	64,122		48,433,465	銀行
AUSNET SERVICES	491,972		63,183,169	公益事業
MEDIBANK PRIVATE LTD	259,338		58,333,174	保険
AGL ENERGY LTD	158,383		229,265,771	公益事業
VICINITY CENTRES	657,315		121,142,077	不動産
VIVA ENERGY GROUP LTD	625,607		78,076,044	エネルギー
COLES GROUP LTD	73,417		88,162,193	食品・生活必需品小売り
INGHAMS GROUP LTD	126,389		32,463,870	食品・飲料・タバコ
COCA-COLA AMATIL LTD	169,607		147,430,842	食品・飲料・タバコ
ASX LTD	13,708		85,210,010	各種金融
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	302,319		92,788,374	小売
TRANSURBAN GROUP	105,910		120,649,180	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	34,862		215,667,836	銀行
BORAL LTD	125,475		45,339,247	素材
CHARTER HALL RETAIL REIT	81,880		27,982,499	不動産
APA GROUP	164,844		135,516,073	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	196,281		100,832,207	保険
FLIGHT CENTRE TRAVEL GROUP LTD	6,430		18,340,103	消費者サービス
G. U. D. HOLDINGS LTD	7,225		6,301,299	自動車・自動車部品
GPT GROUP	147,184		64,076,622	不動産
GWA GROUP LTD	104,257		27,081,705	資本財
SUNCORP GROUP LTD	121,023		112,926,700	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	94,520		177,353,592	銀行
JB HI-FI LTD	61,963		178,308,851	小売
IOOF HOLDINGS LTD	213,888		122,758,241	各種金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	31,279		31,206,374	保険
STOCKLAND	607,753		216,960,148	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	390,111		132,754,360	消費者サービス
WESFARMERS LTD	39,499		129,571,165	小売
WOODSIDE PETROLEUM LTD	80,380		202,553,867	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	30,248		91,828,205	食品・生活必需品小売り
DEXUS	20,136		18,584,380	不動産
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	541,923		86,506,356	公益事業
MACQUARIE GROUP LTD	4,671		49,065,496	各種金融
G8 EDUCATION LTD	237,236		32,963,789	消費者サービス
SYDNEY AIRPORT	211,556		128,787,900	運輸
AURIZON HOLDINGS LTD	195,101		76,585,141	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	133,595		28,014,044	不動産
WPP AUNZ LTD	142,638		6,002,760	メディア・娯楽
STAR ENTERTAINMENT GROUP LTD	255,914		77,617,220	消費者サービス
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	853,103		116,062,119	メディア・娯楽
SCENTRE GROUP	551,504		154,462,737	不動産
合計			4,604,327,268	

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
4,666,073,502	(55,092,330)

(注) () 書きは負数です。

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第31期（決算日 2020年6月10日）
（計算期間 2019年12月11日から2020年6月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2020年6月10日に第31期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純資産総額
	円	騰落率					
27期（2018年6月11日）	10,169	△0.0	—	—	—	—	百万円 717
28期（2018年12月10日）	10,165	△0.0	—	—	—	—	701
29期（2019年6月10日）	10,161	△0.0	—	—	—	—	652
30期（2019年12月10日）	10,158	△0.0	—	—	—	—	733
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	—	—	575

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首（前期末） 2019年12月10日	10,158	—	—	—
12月末	10,157	△0.0	—	—
2020年1月末	10,157	△0.0	—	—
2月末	10,156	△0.0	—	—
3月末	10,156	△0.0	—	—
4月末	10,155	△0.0	—	—
5月末	10,154	△0.0	—	—
期 末 2020年6月10日	10,154	△0.0	—	—

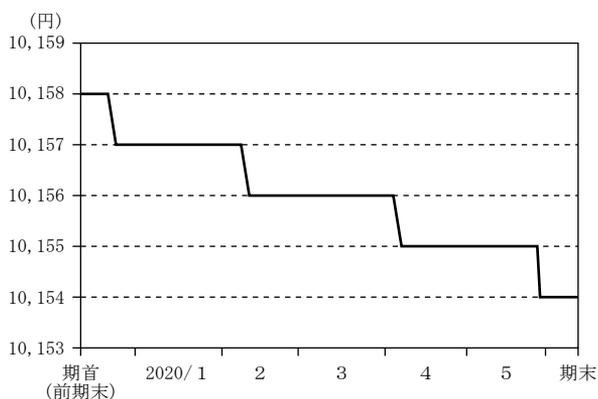
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,158円から期末は10,154円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初、期末ともに△0.11%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年12月11日から2020年6月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/12/11~2020/6/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,155円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年12月11日から2020年6月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年12月11日から2020年6月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年6月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年6月10日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 575,924	% 100.0
投資信託財産総額	575,924	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	575,924,224円
コール・ローン等	575,924,224
(B) 負 債	1,159
未 払 利 息	1,159
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	575,923,065
元 本	567,176,513
次 期 繰 越 損 益 金	8,746,552
(D) 受 益 権 総 口 数	567,176,513口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,154円

(注) 期首元本額 721,650,571円
 期中追加設定元本額 41,876,701円
 期中一部解約元本額 196,350,759円

(注) 1口当たり純資産額は1.0154円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T & Dインド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	57,394,392円
米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型)	13,070,055円
野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型	22,097,965円
野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型	5,675,163円
野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	18,319,121円
野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	2,636,170円
野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型	212,895,925円
野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型	9,735,828円
野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型	1,038,862円
野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型	160,506円
野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型	43,012,339円
野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型	11,872,046円
野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	33,235,413円
野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	4,042,047円
野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型	13,535,750円
野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型	5,829,793円
野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	31,988,285円

損益の状況

当期 自2019年12月11日 至2020年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 234,944円
支 払 利 息	△ 234,944
(B) そ の 他 費 用	△ 2,938
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 237,882
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	11,385,369
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	657,299
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,058,234
(G) 合 計 (C+D+E+F)	8,746,552
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	8,746,552

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。